

FUJIWARA Kazumichi



The sound of being

岡山の美術 特別展示

藤原和通

そこにある音

2024.9.21[SAT] ▶ 11.10[SUN] 地下展示室

開館時間 9:00-17:00 入館は閉館30分前まで ※9月28日[土]、10月26日[土]は19:00まで開館

休館日 9月30日[月]、10月7日[月]、15日[火]、21日[月]、28日[月]、11月5日[火]

藤原和通《ニューラルサウンド・システム・ダミーヘッド・マイク》1989 個人蔵

 岡山県立美術館
OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

音〈オト〉は原始的でヘンなもの



音の出ないコンサート、音を見るオブジェ、音に触れる機械…。岡山県倉敷市出身の藤原和通(1944-2020)が手掛けた仕事は、多岐にわたりながらもその中心には常に“音”がありました。このたび岡山県立美術館では、音に対して幅広いアプローチを行ったアーティスト・藤原和通の特別展示を開催いたします。

藤原は1960年代末ごろから、石(コンクリート)と木で制作された巨大な楽器を「音具」と名付け、多くの人で擦り合わせる観衆参加型のコンサート《音響標定(エコー・ロケーション)》を開催し、1976年ヴェネツィア・ビエンナーレに招待されるなど注目を集めます。一時期をイタリアで過ごし、1988年に帰国した後は、当時流行していたウォークマンとの出会いから、音の世界の広がりを感じ、それが機械を通して記録されるということに関心を向けるようになります。自身で高性能の録音用マイクを開発し、世界中を飛び回り様々な音の記録を行い、1992年から1994年まで放送されたテレビ番組『ウゴウゴルーガ』で「おとのはくぶつかん」のコーナーを担当したり、2003年には京都に音を販売するショップ「オトキノコ」をプロデュースしたりするなど、美術の枠を超えて活動の幅を広げていきました。2007年には音を触覚へと変換できるコミュニケーター《dayon》を商品化して一般発売しますが、そのコンセプトからは藤原の活動初期から変わらない、音の存在を知覚し楽しもうとする意識が感じ取れます。

本展では、藤原の作品や手掛けたプロダクト、記録された音に加え、当時の活動を伝える写真や資料などを紹介し、彼が伝えようとした音の魅力に迫ります。

1. 横尾忠則
《STONE 音響標定 (藤原和通)》
1974 国立国際美術館
2. 藤原和通
《音響標定 「サウンド・ロケ第4」》
1972 個人蔵
(撮影/山崎博)
3. 藤原和通《richiami》
1976-88頃 個人蔵
4. 藤原和通
《ポータブル・バイノーラル・マイクロフォン BM-001》
1996 個人蔵
5. 藤原和通《dayon》
2007 個人蔵

関連事業

記念座談会「オトの藤原さん」

日時 | 9月21日[土] 14:00-15:30

会場 | 地下展示室 ※要観覧券

出演 | 新江和美氏(藤原和通アシスタント)、粟津ケン氏(美術家)

司会 | 軸原ヨウスケ氏(COCHAE、デザイナー)

美術の夕べ(担当学芸員によるフロアレクチャー)

日時 | 10月26日[土] 18:00-18:30

会場 | 地下展示室 ※要観覧券

講師 | 洪性孝(当館学芸員)

ワークショップ 要申し込み

「身近な音を見る・聴く・触る」

日時 | 10月19日[土] ①10:00-11:30 / ②14:00-15:30

会場 | 講義室

定員 | 各回20名 ※先着順、空きがある場合のみ当日受付可

講師 | nensow氏(音楽家)

●申し込み方法など詳細は美術館ホームページをご確認ください

観覧料

一般 350円 | 大学生* 250円 | 65歳以上* 170円 | 高校生以下* 無料

*学生証や年齢を確認できる証明書をご提示ください。

・キャンパスメンバーズ加盟校の学生は無料

・障がい者手帳もしくはミライロIDをお持ちの方とその介護者1名は無料

・本展は、特別展「世界遺産 大シルクロード展」観覧券でもご覧いただけます。

交通案内 ※可能な限り公共交通機関をご利用ください。

JR岡山駅後楽園口(東口)から 徒歩 | 約15分

路面電車 | 岡山駅前電停1番乗り場 東山行「城下」下車徒歩約3分

岡電バス | 1番乗り場 藤原団地行「天神町」下車すぐ

宇野バス | 11番乗り場 四御神、瀬戸駅、片上方面行「表町入口」下車徒歩約3分

循環バスめぐりん | 岡山駅9番乗り場 益野線「表町入口」下車徒歩3分



〒700-0814 岡山市北区天神町8-48

TEL 086-225-4800 FAX 086-224-0648

Email kenbi@pref.okayama.lg.jp



美術館ホームページ
(<https://okayama-kenbi.info>)